

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:企画調整班

事業名	県道8号線道路改築事業	事業区分	道路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	うるま市栄野比～安慶名地内				
事業の諸元	道路改築 延長:L=2.0km 幅員:W=18.0m				
事業の概要	<p>県道8号線は、本島中部地域を南北方向に延びる国道329号の栄野比交差点から、うるま市の中心市街地を經由し勝連半島に至る幹線道路であり、隣接市町村や地域拠点へのアクセス、並びにうるま市内各地域間の交通を担う路線である。</p> <p>当該事業は、国道329号の栄野比交差点から、うるま市安慶名までの区間(L=2.0km)について、歩道の拡幅や駐車帯の設置、一部区間の線形改良、交差点改良等の整備を行うものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p>〈必要性〉 当該路線の沿線は、近年、住宅や店舗等の立地により市街化が進むなか交通量も多く、また、周辺に小中学校や高校が隣接するため、通学等により歩行者も多い状況にある。しかしながら、歩道幅員が狭小で、駐車帯も無く、一部区間においては線形不良箇所があるなど、道路環境が不十分な状況にある。この様なことから、歩行者の安全性・快適性の確保、円滑な自動車交通を図るため、道路の拡幅整備を行う必要がある。</p> <p>〈効果等〉 整備により円滑な車両の通行が図られるとともに、歩道拡幅により安全でゆとりある歩行空間の創出に資することができる。</p>				
事業期間	事業採択	平成28年度	完了(予定)	平成35年度	
全体事業費	32.7億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>当該路線の整備は、沖縄21世紀ビジョン基本計画において、2-6-(ア)「地域特性に応じた生活基盤の整備」に位置付けられている。</p> <p>県道8号線(都市計画道路 栄野比具志川線)は都市計画決定後、街路事業や区画整理事業等により整備されてきており、当該区間についても円滑な事業着手が望まれる。</p>				
環境への配慮	ゆとりある歩行空間を確保し、道路植栽により緑陰を形成することで、歩行者及び周辺的生活環境へ配慮する。				
関係する地方公共団体等の意見	うるま市都市計画マスタープラン(H22.3月)において、都市内の各拠点間を連結する主要幹線道路として整備の促進が位置づけられており、うるま市から整備要請がある。				
概要図(位置図)					